

スマート農業の導入や従業員が安心して働ける環境を作る取組 ～アグリテック羽島（株）（岐阜県羽島市）～

経営体の概要

設立年度：令和元年
基幹作物：水稻（主食用米・飼料用米）
経営面積：57ha

現在：令和5年
基幹作物：水稻（主食用米・飼料用米）
経営面積：70ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

- 木曾川の河床低下等により頭首工の機能が低下。
- 都市化・混住化の進行に伴う家庭雑排水の流入やゴミ投棄等により水質が悪化し農作物に被害。

整備前の状況
(羽島水路)



【現在】

- 国営総合農地防災事業「新濃尾地区」（平成10年度～令和9年度（予定））により頭首工の改修が行われ、安定的に農業用水を取水。
- 国営事業及び県営事業により農業用水と排水の分離が行われ、水質の改善・施設管理の適正化が図られ農業生産の維持と農業経営の安定に資するとともに、国土の保全に貢献。

営農改善、経営転換等のポイント

①担い手の育成・確保

従業員の新規雇用に当たり、農繁期と農閑期を踏まえた年間労働時間の設定や給与の支払方法などの見直しを行った。

また、他産業並みの給与額を設定するとともに、1年を4期に分けて勤務時間を設定し、年間労働時間を抑えられるよう工夫を行った。



アグリテック羽島の皆様

②省力化

農業機械メーカーのクラウドサービスを活用し、ほ場の作業場所、面積、農作業の記録などをパソコンで一元管理。次に作業を行う場所の優先順位が分かるため、作業の効率化や省力化に役立っている。



GPSを活用したトラクター

③機械・施設の整備状況

GPSを活用した、ドローンやコンバインなどの自動操縦システムの導入を行い、作業者の負担軽減や作業効率の向上を図り、経営規模を大幅に拡大。地域の農地の受け皿となるため、更なる規模拡大を見据えている。



収穫作業(米の品質の確認)

事業概要

事業種：国営総合農地防災事業
 関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び
 愛知県名古屋市外12市5町
 受益面積：10,139ha
 事業期間：平成10年度～令和9年度（予定）
 事業目的：農業用排水施設の機能回復
 主要工事：頭首工改修 1箇所 用水路改修 L=32.0km
 排水路改修 L=27.3km

位置図



<問合せ先>

東海農政局
 農村振興部農地整備課
 課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
 電話：052-223-4638

（令和5年度調査時点）